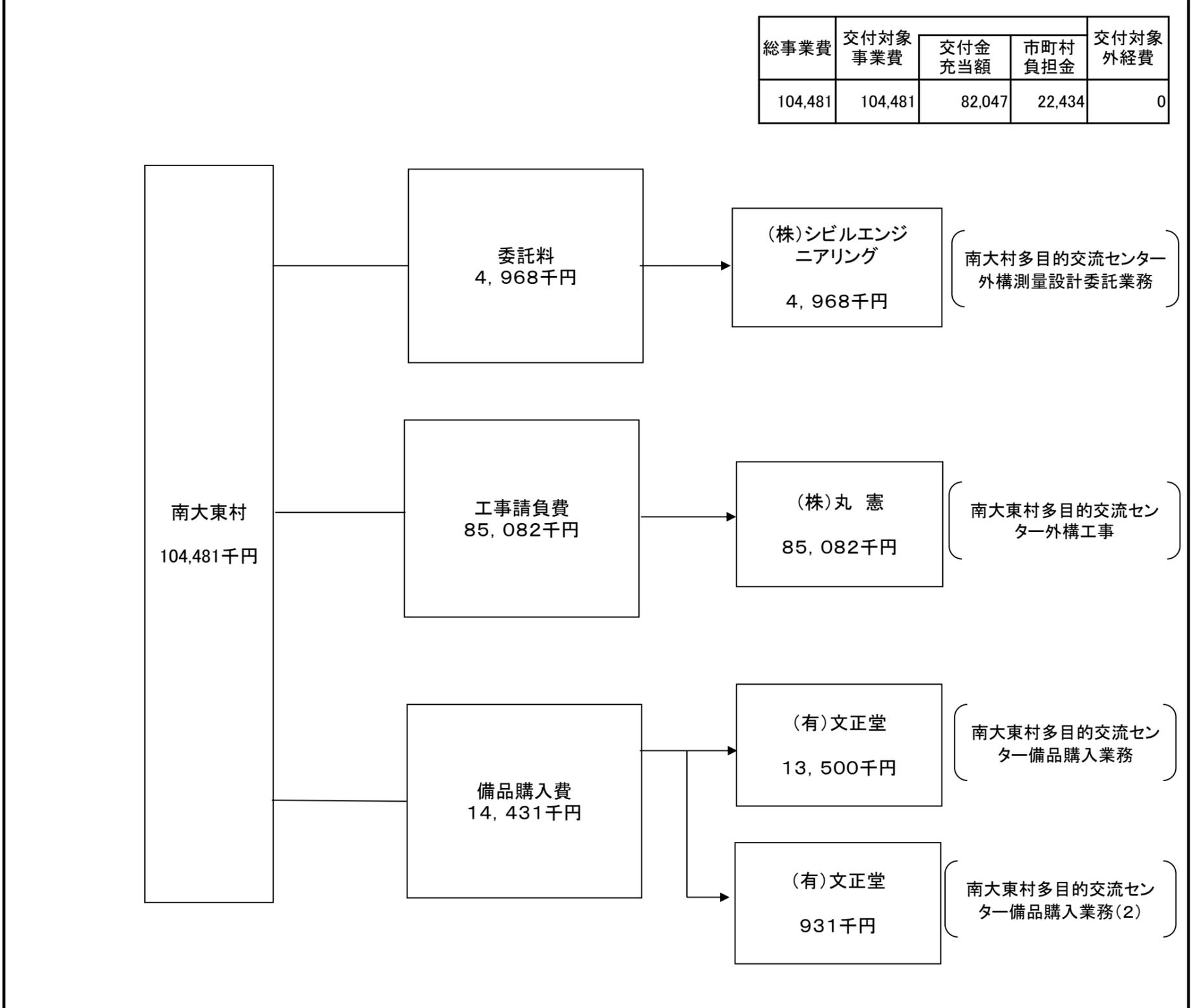


市町村名	南大東村						
平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	南大東村多目的交流拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-エ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島を支える多様な人材の育成 III-9	
事業内容	<p>村民交流、伝統文化継承や人材育成、農漁村を中心とした各種研修をはじめ、観光客との交流を図るとともに、災害時には、村民及び観光客の避難施設として活用するため、村の多目的拠点施設を整備する。 平成29年度には、多目的交流センター備品購入業務、外構測量設計委託業務、外構工事を実施した。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	214,152		77,386		-
		(b)予算現額	547,434		109,358		-
		(c)増減額(b-a)	333,282		31,972		-
		(d)繰越額	0	203,305	0	56,695	-
		A.計(b+d)	547,434	203,305	109,358	56,695	-
	B.執行済額		345,309	201,680	52,663	51,818	-
	うち交付金充当額		276,246	161,344	42,130	39,917	-
	次年度繰越額		203,305	0	56,695	0	-
	執行率(%) (B/A)		63.1%	99.2%	48.2%	91.4%	-
予算の状況の説明		平成28年度は、外構測量設計委託業務及び備品購入業務が完了したが、外構整備工事においては、島外からのアスファルト専門業者の職人確保に不足の日数を要し年度内完了が困難となったことから、56,695千円を平成29年度へ繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	達成状況						
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	建築工事实施・備品購入	目標	(基本設計・実施設計の実施)	(既存施設解体、基礎工事実施)	(建築工事实施)	(建築工事实施・備品購入)	
	実績	基本設計・実施設計の実施	既存施設解体、基礎工事実施	建築工事实施	建築工事实施・備品購入		
達成状況説明	平成27年度より着手した建築工事について、平成28年度予算においても引き続き実施した。前年度からの工程遅れ及びアスファルト舗装の専門業者の職人確保に時間を要したため、外構工事の完成に影響が生じてしまい平成29年度へ繰越となったが、備品購入まで完了させることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(30年度)
	多目的拠点整備の供用開始	目標	()	()	()	(供用開始)	()
		実績				供用開始	
	【参考指標】 建築工事を完了し、多目的拠点整備を推進する。	目標	()	()	(整備を推進する)	()	()
		実績			整備を推進した		
	【参考指標】 危険既存施設の撤去、整地、基礎工事を実施し、多目的拠点施設建設への条件を整える。	目標	()	(条件整備)	()	()	()
		実績		条件を整備した			
【H30年度】 年間施設利用回数	目標	()	()	()	()	200回	
	実績						
進捗状況説明	繰越となったものの、施設を完成させることができ、平成30年2月に供用開始を行った。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設の完成により、島内における文化継承、島外からの来訪者との交流や、村民間の交流に資する施設の確保を行うことができたほか、従来は拠点がなく連携に支障をきたしていた関連団体等と連携を深めることができるようになった。 ・本施設の有効活用に向けて、関係者間の連携による管理運営を行い、適切な利活用を図っていく必要がある。 ・災害時における避難者の受入体制についても構築を完了させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・島内における各種イベントの実施にあたって、関係者間の連絡体制をこれまで以上に密にしていくことが、円滑な利活用の推進に資すると考えられる。また、施設の利用実態を適切に把握することで、施設運用開始後の課題の洗い出しに務めることも、円滑な利活用の推進に資すると考えられる。 ・災害対応としては、災害備蓄物資の一部配置や、災害時の対応検討等を行うことが、円滑な対応につながるものと考えられる。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から施設運用が開始されており、今後共村民交流や伝統文化継承、人材育成、各種研修、観光客との交流など活発に施設を利用できるよう関係機関と地域の活性化に向けた取組を行う。そのため、今後年間を通して利用者数や利用目的の確認を行うほか、従来は空間的、あるいは施設的な面で課題があつて実施できなかったり、集客が難しかった取組(移動図書館、芸術関連の発表会や上映会、演奏会等のような文化イベントの実施、南北交流会、伝統文化の練習場所としての活用等)についても本施設で実施していくことで、文化継承、来島者との交流、その他人材育成等の拠点として活用していく。 ・災害対応の一環として、村内備蓄物資の一部を予め本施設にも分散配置して管理しつつ、有事においては他部署と協同で対応していくための連絡体制を整えていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事・委託業務の業査選定は指名競争入札により実施しており妥当であったと考えている。 ○予算規模については約4.5%の不用が生じているが、概ね適正な規模であった。 ○費目・用途について事業目的達成の視点から必要なか等については額の確定時において検査、確認しており適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 南大東村

平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④	屋根付相撲場整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-エ 離島を支える多様な人材の育成
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度 平成27~28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9

事業内容 南大東島は歴史的に八丈島出身者による開拓がなされてきたことから、江戸相撲と沖縄角力の奉納相撲が実施されてきた。こうした伝統を継承していくとともに、その担い手となる人材の育成に向けて、雨天時でも常時使用可能な練習場及び試合場として、屋根付相撲場を整備する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		27年度	28年度	28年度(繰越)	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	5,616	70,079		
		(b) 予算現額	5,400	118,271		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 216	48,192		
		(d) 繰越額	—	0	74,516	
		A. 計(b+d)	5,400	118,271	74,516	
	B. 執行済額		5,400	38,232	74,515	
	うち交付金充当額		4,320	30,585	59,612	
	次年度繰越額		0	74,516	0	
執行率(%) (B/A)		100.0%	32.3%	100.0%		
予算の状況の説明		平成28年度は、入札不調となったことから、設計の見直しを行う必要が生じてしまい、工事着手の遅れが生じてしまったこと、島外からの職人確保に不足の日数を要し年度内完了が困難となったことから、74,516千円を平成29年度へ繰り越した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		27年度	28年度	29年度	30年度
		建築工事実施	目標 (委託設計実施)	(工事実施)	()
達成状況説明	平成27年度に有識者及び関係者等による土俵及び規模等の検討を行い、基本設計及び実施設計業務が完了した。平成28年度予算によって、建築工事を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)	
		屋根付相撲場建築工事完了	目標 ()	(建設整備の条件を整理)	(工事完了)	()	()
		実績	/	建設整備の条件を整理	完了		/
		【H30年度】年間練習利用日数	目標 ()	()	()	()	120日
進捗状況説明	建築工事入札不調により設計の見直しにより時間を要したことや、島外からの職人確保に不足の時間を要したため、屋根付相撲場の完成に影響が生じてしまい平成29年度へ事業が繰越となったが、29年度において屋根付相撲場整備工事を完了させ、平成30年4月より供用を開始した。						

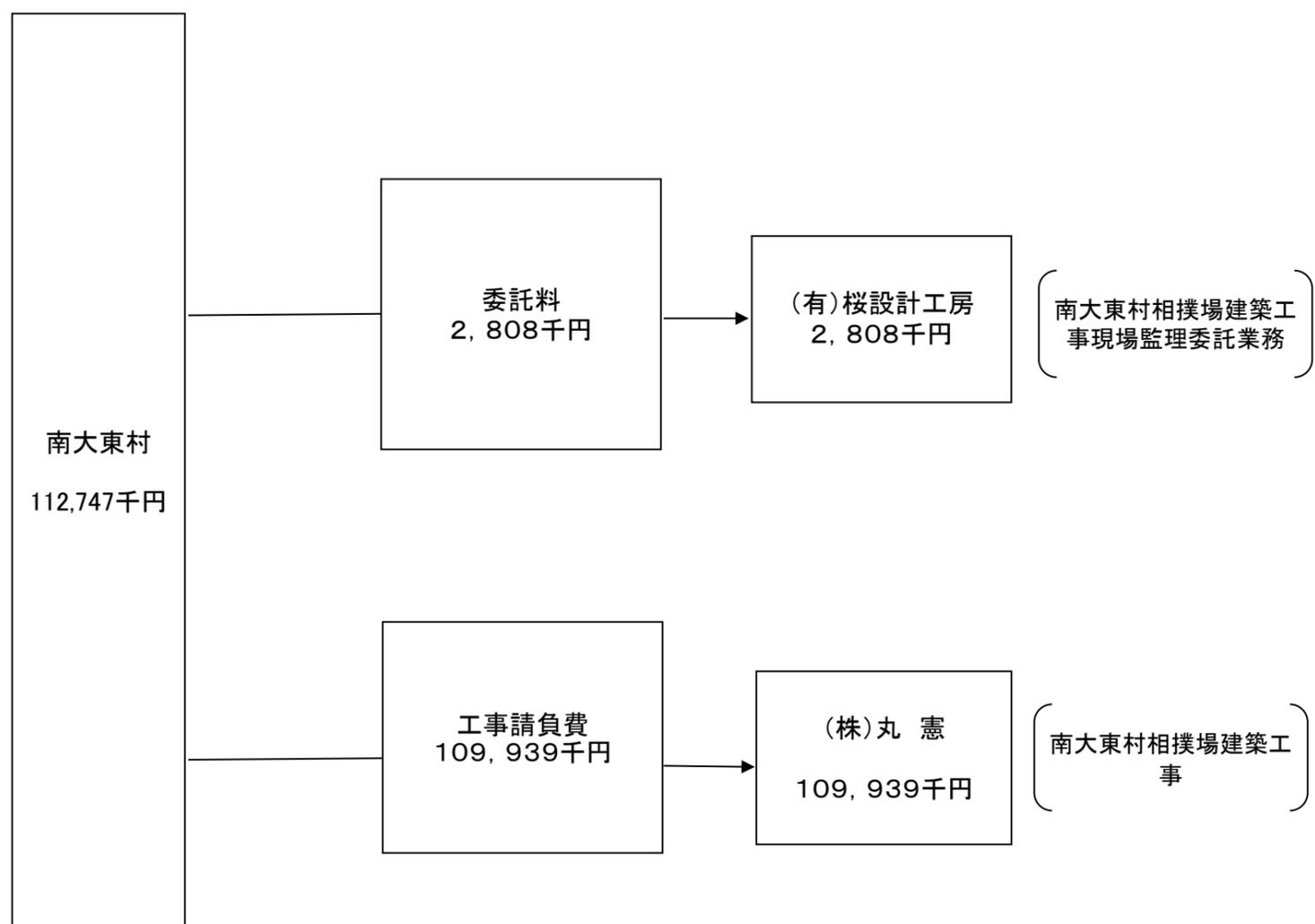
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・従来は雨天時においては相撲場や砂場の管理の観点からも利用を行うことができなかったが、本施設の完成により、雨天時においても十分な練習を行える環境が整えられた。 ・今後本施設の有効活用による伝統文化継承・人材育成に向けて、取り組んでいく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸相撲と沖縄角力の双方を受け継ぐ大東島の文化を継承し、担い手となる人材を育成していくにあたっては、練習のモチベーションを高めるという観点からも、定期的な相撲大会の開催や交流会等の実施が有用と考えられる。

今後の取り組み方針

・平成29年度から施設が供用開始されたことから、今後は練習場や試合場として、活発な施設利用を実施し、施設を活用した大会など南大東村の伝統文化の継承に向けて取組を行う。
 具体的には、日々の練習における利活用については、管理面から適宜適切に利用できるようにしていくとともに、伝統文化の継承および他地域との交流による人材育成の観点から、ボロジノ相撲大会や南北交流の江戸相撲大会などの誘致・定期開催に取り組んでいく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
112,747	112,747	90,197	22,550	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事・委託業務の業査選定は指名競争入札により実施しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は約4.7%であり、概ね適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の視点から必要なか等については額の確定時において検査、確認しており適切であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 南大東村

平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	南大東村安らぎ空間整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア 沖縄らしい風景づくり
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度 平成24~28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3

事業内容
本村においても、県内他市町村と同様に、従来は門中墓、個人墓を個人所有地に建設するなど、個人による墓地の管理運営が伝統的に行われてきたが、これを再整理することで、本村における墓地管理の利便性を高めるとともに、参拝者や墓地利用者の安らぎの空間づくりに繋げることを目的として、墓地整備計画に基づき、区画整備等を行う。

実施方法
 直接実施
 委託
 補助
 負担
 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	28年度(繰越)	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	36,745	10,038	10,000	50,313	
		(b) 予算現額	36,015	9,558	16,632	55,347	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 730	▲ 480	6,632	5,034	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	17,349
		A. 計(b+d)	36,015	9,558	16,632	55,347	17,349
	B. 執行済額		36,015	9,558	16,632	37,998	17,349
	うち交付金充当額		28,812	7,646	13,305	30,398	13,879
	次年度繰越額		0	0	0	17,349	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	68.7%	100.0%
	予算の状況の説明		区画整備内の地形地質は、緩丘陵地形で計画当初の土工よりも琉球石灰岩等現場での状況変化が確認されたため、岩掘削への追加整備工事費として5,034千円の増額分が発生した。				

		達成状況			
		28年度	29年度	30年度	31年度
活動目標(指標)及び達成状況	駐車場、車道、区画整備(3タイプ)の工事実施	目標 (工事実施)	()	()	()
		実績 工事実施			
達成状況説明	平成24年度に基本、実施設計業務が完了し、平成25年度から平成28年度にかけて整備工事を実施した。しかしながら最終年度は区画整備内の緩丘陵地形で計画当初の土工よりも琉球石灰岩等が確認されたため、岩掘削等に日数を要したため、年度内に完了することができず事業を繰り越した上で、各工事を実施することとなった。				

H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(30年度)
南大東村霊園墓地整備の完成及び平成29年4月の運用開始	目標	()	(完成・運用開始)	()	()	()
	実績		墓地整備の完成及び運用開始			
【H30年度】整備した墓地の活用による無縁墓地及び無許可墓の発生件数	目標	()	()	()	()	0件
	実績					
進捗状況説明	平成28年8月に霊園墓地整備が完了した。合葬墓に関しては運用を開始しており、通常区画については、村条例等の整備(墓地検討委員会)及び既存墓の持ち主との管理運営費について調整の上、平成30年度中に順次運用していく予定となっている。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・墓地の経営許可や霊園の設置及び管理に係る村条例等を今後順次整備していくことになるが、条例制定後は、原則的に個人が墓地の設置(新設)を行うことはできなくなるとともに、墓地指定地域内における既存墳墓の改修・建替を行うことができなくなる見込みとなっている。 ・整備した区画の形状等に応じた料金設定について、検討を早急に行い、霊園設置条例案へ盛り込む必要がある。 ・既存墓に係る今後の管理について、検討を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条例制定に伴う規制事項等については、条例制定前の段階で周知広報を徹底していくことで、墓地の円滑な運用に繋がるものと考えられる。 ・料金設定については、既存の事例等を参考にすることが有用と考えられる。 ・既存墓に係る管理費について併せて検討するとともに、今後無縁となった際の対応について、現段階から検討を行うことで、墓地区域の円滑な運用に資することとなると考えられる。

今後の取り組み方針

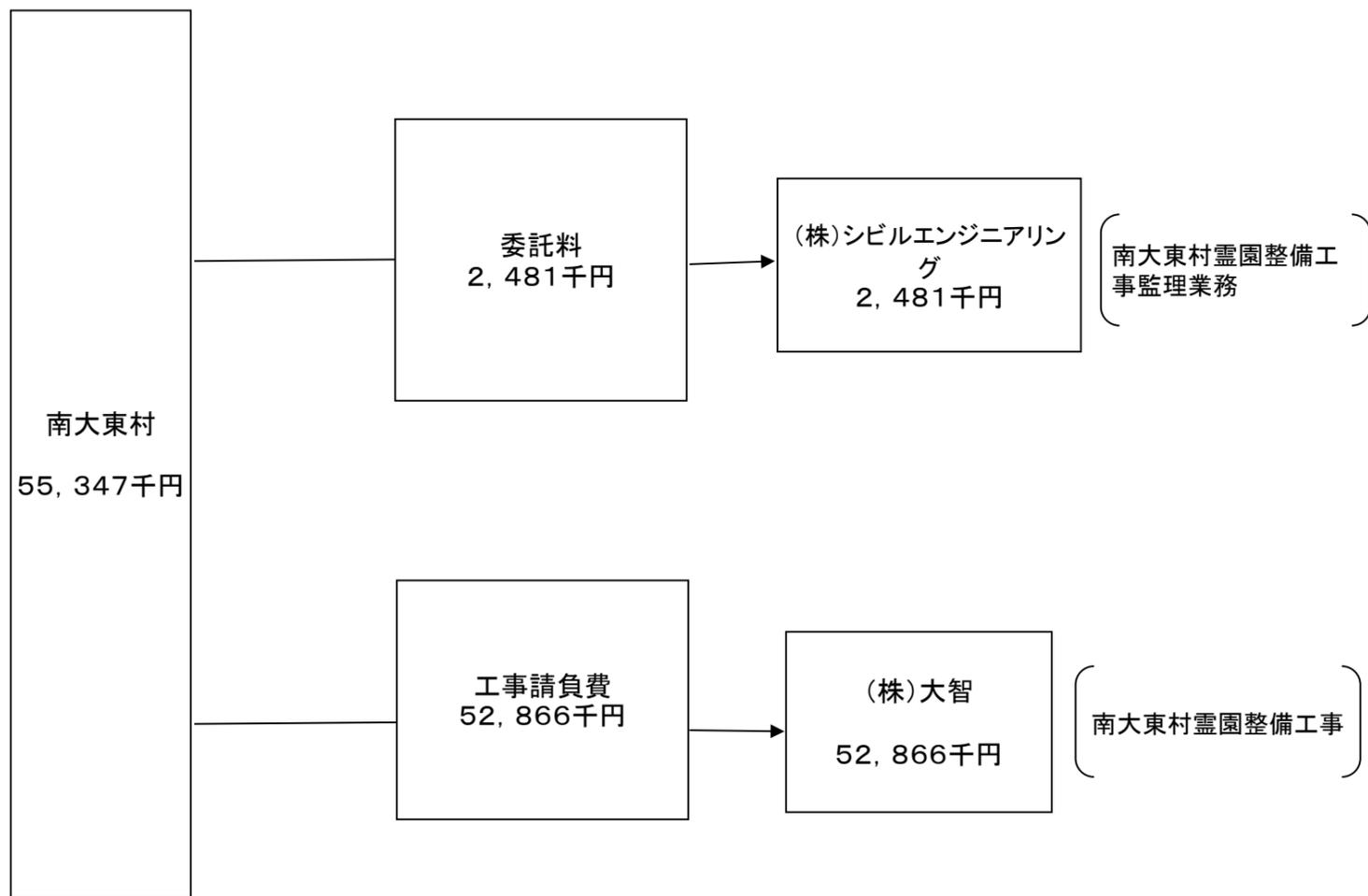
・今後、墓地の経営許可や霊園の設置に係る例規等の制定に向けて取り組んでいく。特に霊園の設置に係る例規についてはH30年中の制定を目指すことで、早期に各区画の供用開始に繋げるとともに、制定前の段階から、各区毎の説明会を行い墓地の運用や、個人墓の散在防止に向けた広報等に取り組んでいく。

・使用料の設定については、既存の納骨堂等との公平性及び住民の意見を踏まえ検討を行い、住民説明会や広報等で、関連規則の周知に取り組んでいく。

・既存墓に関しても、管理料については負担をお願いしていくとともに、今後の課題として新たな無縁墓等が出ないように、墓地管理者が全くなかった場合等の対応について、事前に検討を実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
55,347	55,347	44,277	11,070	0



資金の流 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務・工事請負の業社選定は指名競争入札により実施しており妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は1%以内であり適切な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の視点から必要なのか等については額の確定時において検査、確認しており適切であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

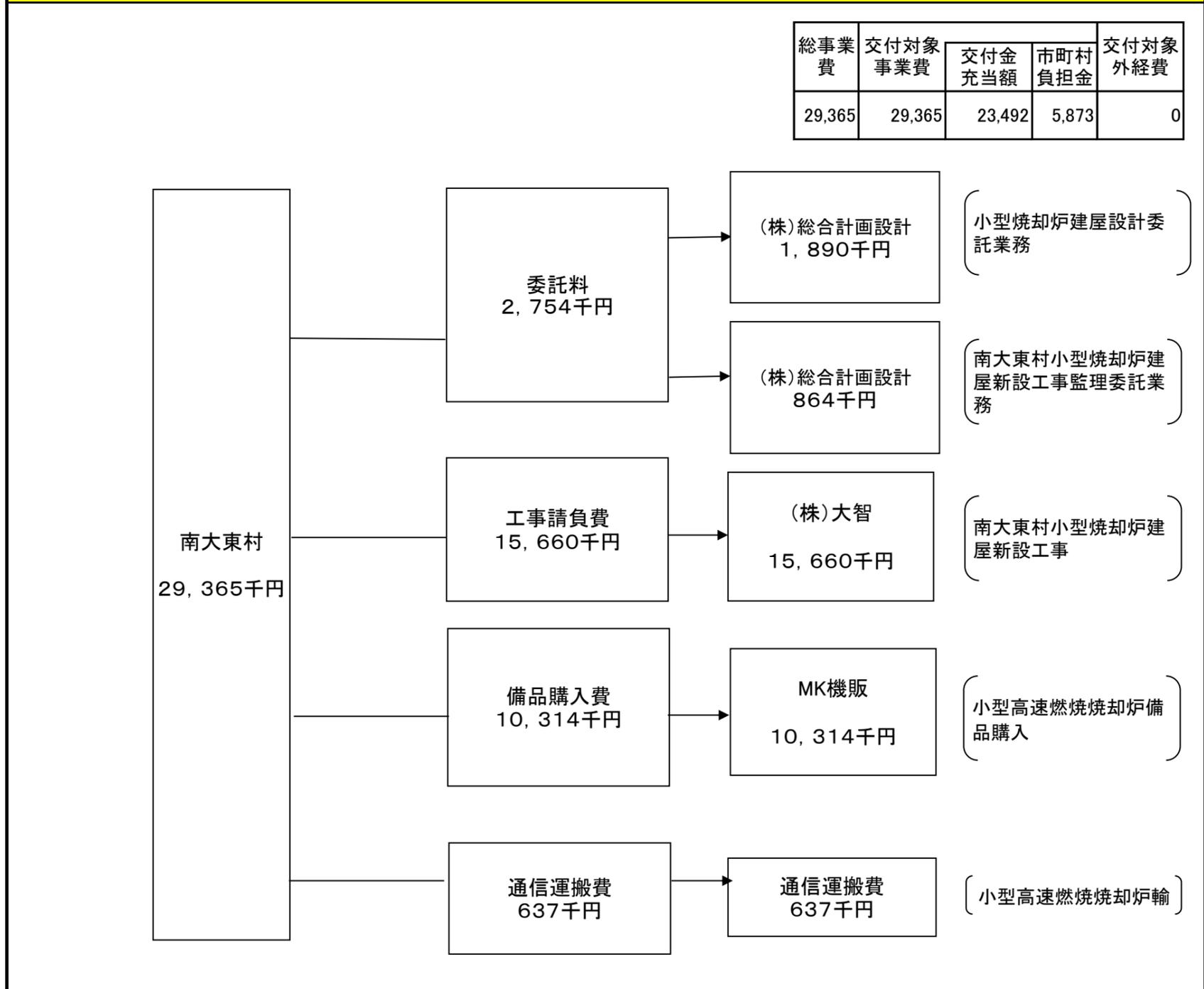
市町村名	南大東村						
平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	南大東村環境保全・景観保全推進事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9		
事業内容	農業用資材等の放置をなくし、南大東村の環境、景観保全を保つため、最終処分場施設に小型高速燃料焼却炉を設置し整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	28年度(繰越)	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		21,120				
			29,368				
			8,248				
			—	15,712			
			29,368	15,712			
	B. 執行済額		13,656	15,709			
	うち交付金充当額		10,925	12,567			
	次年度繰越額		15,712				
	執行率(%) (B/A)		46.5%	100.0%			
予算の状況の説明		当初の計画では事業一括発注を予定していたが、導入予定の小型高速燃料焼却炉に受注生産(オプション)に日数を要し、12月補正予算にて工事費と備品等に分けて発注。工期内3月末までの導入がどうしても厳しい状況が発生したため繰越の手続きを行い7月に完成した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	小型高速燃料焼却路の設置及び建屋工事	目標	小型高速燃料焼却路の設置及び建屋工事	()	()	()	()
		実績	小型高速燃料焼却路の設置及び建屋工事				
達成状況説明	平成28年度に実施設計を行い、同年度に建築工事及び小型高速燃料焼却炉の事業を発注したが、工期内の完成が間に合わず繰越事業で達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(30年度)
	小型高速燃料焼却路の設置及び建屋完了	目標	()	(設置完了)	()	()	()
		実績			設置完了		
	【H30年度】年間利用日数	目標	()	()	()	()	150日
		実績					
進捗状況説明	平成29年7月に建屋(新設)及び小型高速燃料焼却炉整備が完了した。平成29年8月よりメーカー立会いの下、試験運転を行い作業工程等の業務引継ぎを得て村で運営開始しており、農業用廃プラ等について、円滑に処理できることで効率化が図られた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小型高速燃焼焼却炉を導入後は、島内の事業所及び農家から出る農業用廃プラ等について、安定して島内で処理できるようになり環境、景観保全が図られた。 ・農業用廃プラ等を処理する際に水を利用するため、その排水による土壌汚染等が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き農業用廃プラ等の産業廃棄物について、適正回収及び炉の管理を行い、環境・景観の保全に努めていく。 ・排水による土壌汚染の懸念に対応できるよう、監視体制を構築することで、万一汚染が生じた場合に迅速に対応できるようにする。

今後の取り組み方針

- ・焼却炉のメンテナンスを徹底し、処理可能な農業用廃プラ等の産業廃棄物について円滑な回収及び焼却処分に努める。
- ・浄化槽における廃水処理の管理として、浄化槽内の水のサンプルについて定期的に水質検査を実施するとともに、日々の浄化槽に設置されたセンサーの目視確認等を通して、土壌汚染等の有無について監視し、適切な運営を行える体制を構築していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検・費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務・工事請負の業査選定は指名競争入札により実施しており妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は1%以内であり適切な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的の達成の視点から必要なもの等については額の確定時において検査、確認しており適切であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 南大東村

平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-①	安心安全強化対策事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度 平成25・28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10

事業内容 自然災害発生時における住民や観光客の避難場所とする為、ゲートボール場として使われているスパーク南大東(屋内ゲートボール場)の機能強化を図った。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		25年度	28年度	28年度(繰越)	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	4,725	216,504		
		(b) 予算現額	6,825	216,585		
		(c) 増減額(b-a)	2,100	81		
		(d) 繰越額	-		130,229	
		A. 計(b+d)	6,825	216,585	130,229	
	B. 執行済額		6,825	86,356	130,228	
	うち交付金充当額		5,460	69,085	104,181	
	次年度繰越額		0	130,229	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	39.9%	100.0%	
	予算の状況の説明		平成29年2月10日建築確認申請業務(委託料)に不足が生じ予備費から81千円流用を行った。			

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	28年度	29年度	30年度
屋内ゲートボール施設(スパーク南大東)の機能強化(補修・補強)工事	目標	(設計一式)	(機能強化(補修・補強)工事)	()	()
	実績	設計一式	機能強化(補修・補強)工事		
達成状況説明	平成25年度に調査設計を完了し、平成28年度現場委託業務、ゲートボール場・管理棟工事に着手した。事業を繰り越すこととなったものの、平成29年度に建築工事、電気工事を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	28年度	29年度	目標値(年度)
			屋内ゲートボール施設(スパーク南大東)の機能強化(補修・補強)工事の完了	目標	()	(建設整備の条件を整理)	(機能強化(補修・補強)工事の完了)
		実績	/	建設整備の条件を整理	機能強化(補修・補強)工事の完了		/
	【H30年度】避難訓練の際に避難場所として認知できた人の割合	目標	()	()	()	()	80%
進捗状況説明	・スパーク南大東機能強化工事については、平成30年度1月末で完了し、平成30年2月から利用が開始されている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・収容人数300人が見込まれる島内では大規模な施設の一つとなっている。</p> <p>経年劣化や風雨の侵入により、支障が生じていた屋根の部材等の取り替えを行った他、鳥類や風雨の流入防止などを実施したことで、安全な施設運用が可能となった。これにより、災害時には避難施設の一つとして、有効的に利用ができるようになった。</p> <p>施設に隣接して集合住宅(村営住宅)や酒造所、観光施設(ビクターセンター)等が存在しており、農作業等の方も含めて、災害時において近隣住民及び観光客等の避難が円滑になされるよう、避難施設としての機能に係る周知が必要である。</p> <p>・通常時は運動施設及び村民の交流の場としての利用を行うなど、多目的施設として、利活用を促進して行く必要がある。</p>	<p>・施設については村の防災関連の広報の際に合わせて周知するほか、施設内外等において日常的な周知がなされることにより、災害時の円滑な避難に資する事が可能となると考えられる。</p> <p>・通常時の利用促進として、イベントの開催や情報発信の強化により、さらなる利用者数の増加に繋げることが可能と考えられる。</p>

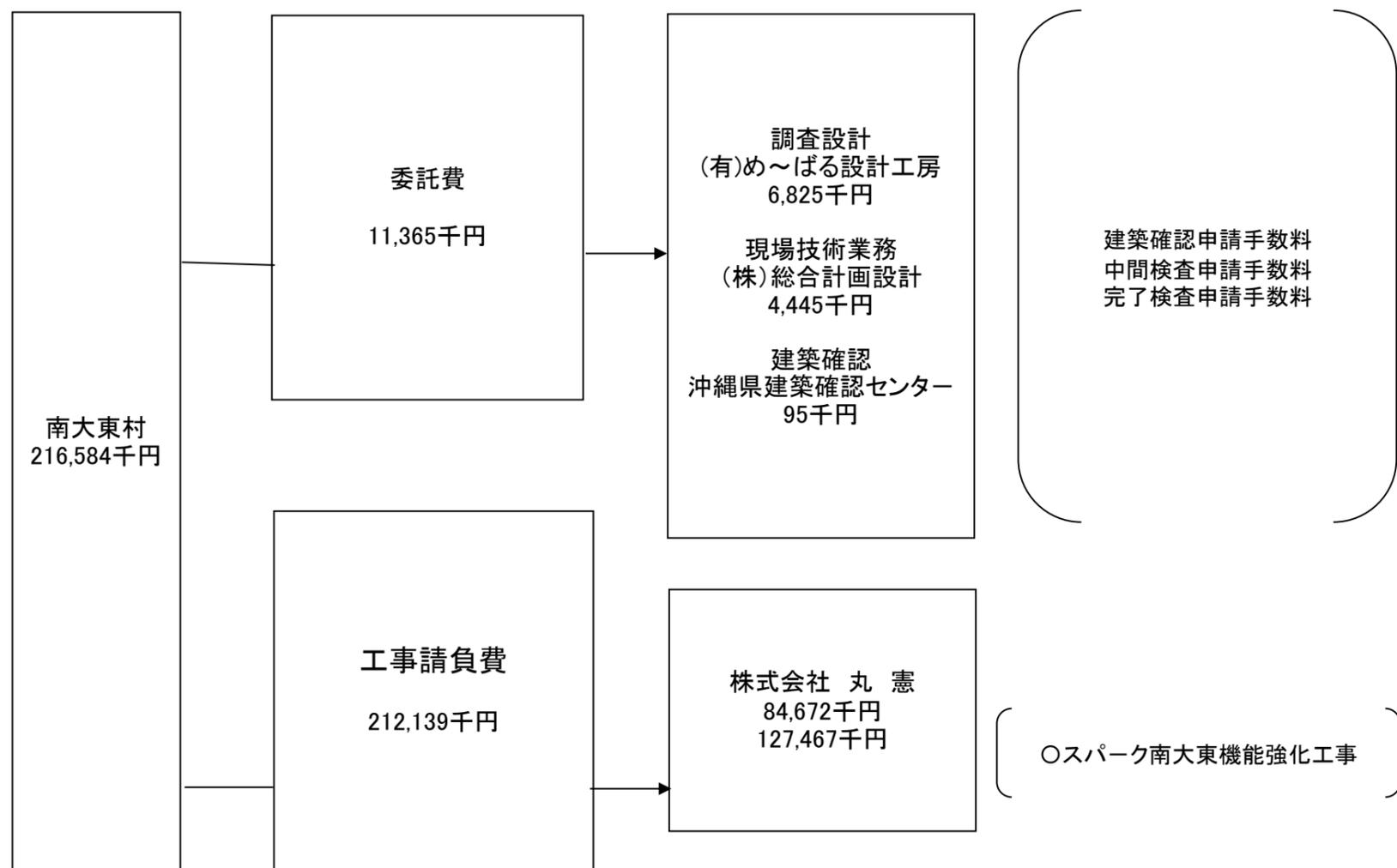
今後の取り組み方針

・防災関連の村広報業務や資料等の中で、本施設が災害時の避難所となっていることを周知するとともに、日常の利用等を通して住民や観光客が本施設が災害時の避難場所であることが認識できるよう掲示等の設置の検討する。

・通常時における利用促進としては、ゲートボール大会など、イベントの開催を定期的実施して村民等の利用促進を促していくことで、村民の健康づくりや交流の場としての役割を果たせるよう取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
216,584	216,584	173,266	43,318	0



資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は462,550円であり、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	